

明治ホールディングス株式会社

2026 年 9 月 24 日

報道関係者各位

食と医薬の知見を活かし、
ガーナ共和国と明治グループのパートナーシップ強化へ
～「明治ミルクチョコレート」発売 100 周年を記念し、ガーナ共和国で式典を開催～

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：松田 克也・以下、明治 HD）は、2026 年 9 月 14 日にガーナ共和国にて「明治ミルクチョコレート 100 周年記念式典」を開催しました。本式典は、「明治ミルクチョコレート」が 2026 年 9 月 13 日に 100 周年を迎えたことを記念し、カカオの調達を通じて長年にわたりパートナーシップを築いてきたガーナ共和国へ感謝の意を伝えるとともに、今後のさらなるパートナーシップ強化に向けた新たな一步として開催しました。

明治グループは、カカオ農家支援のさらなる拡大およびカカオバイオプラスチック製造の同国への導入に加え、食品事業で培った栄養分野の知見や医薬品事業で培った感染症領域の知見を活かした取り組みを加速させていきます。



式典の様子

式典には、ガーナ共和国政府関係者、カカオ農園関係者、在ガーナ日本国大使館などから多数のご来賓をお迎えし、合計 123 名が参加しました。明治グループからは、明治 HD 代表取締役社長 CEO 松田 克也、(株)明治 代表取締役社長 八尾 文二郎、Meiji Seika ファルマ (株) 取締役専務執行役員 成瀬 毅志をはじめとした関係者が出席し、100 年にわたるガーナ共和国との取り組みを振り返るとともに、グループ一体でのパートナーシップ強化に向けた調印式を実施するなど、具体的なアクションを行いました。

ガーナ共和国大統領府官房長官のジュリアス・デブラ氏からは、地域社会が直面するプラスチックごみ問題への言及とともに、カカオの未活用資源を新たな製品へと転換する取り組みへの期待が示されました。また、ガーナ国内での付加価値創出や雇用の拡大、生産地域への価値還元的重要性が述べられ、今後の具体的な協力の進展に期待が寄せられました。

日本からは、在ガーナ日本大使館 特命全権大使 義本 博司 閣下、農林水産省 稲村 光洋氏にもご出席いただき、同国カカオ産地における循環型アグロフォレストリー※モデル農園の共同開発やカカオ由来バイオプラスチックの事業化などに関する連携強化に向けて期待が示されました。

※アグロフォレストリーとは、森林伐採後の土地に、自然の生態系にならった多種の農林産物を共生させながら栽培する農法です。

■式典 主催あいさつ

式典の冒頭では、明治 HD 代表取締役社長 CEO 松田が「明治ミルクチョコレート 100 周年という節目を、カカオを通じて長年支えてくださったガーナの皆さまと迎えられることを大変有意義に感じております」とあいさつし、ガーナ共和国への感謝を述べました。また、明治ミルクチョコレート 100 周年のほか、今年は明治グループ創業 110 周年、医薬品事業 80 周年という節目の年であること、さらにはガーナ共和国と日本のつながりの歴史に触れ、今後もさまざまな形で交流と発展が続いていくことへの期待を述べました。



代表取締役社長 CEO 松田 克也による
主催あいさつ

■パートナーシップ強化に向けた調印式の実施

式典では、今後のパートナーシップ強化に向けた調印式も行い、協力意向書などの締結を行いました。

（１）ガーナ共和国政府と明治ホールディングス株式会社との間の持続可能なカカオ産業の発展および循環型経済に関する協力意向書

本協力意向書は、ガーナ共和国政府と明治 HD が、食と医薬を通じてガーナ共和国の栄養・健康課題の解決に貢献するとともに、持続可能なカカオ産業の発展と循環型経済の実現に向け、包括的な協力を進めることを確認するものです。

カカオ産業を起点とした新たな価値創出、農家所得の向上、地域雇用の創出を通じて、ガーナ共和国の持続可能な社会・産業の発展を目指します。

また、本協力意向書は、ガーナ共和国政府と明治グループによる包括的な協力の枠組みであり、在ガーナ日本国大使館、JETRO、JICA をはじめとする関係機関との連携のもと、持続可能なカカオ産業の発展と循環型経済の実現に向けた日本とガーナ共和国の連携の取り組みとして推進されます。



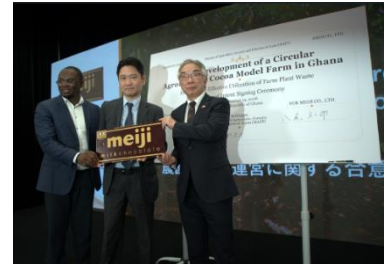
今後は、こうした連携を基盤として、農家支援、人材育成、地域雇用の創出に加え、食と医薬の知見を活かした社会課題の解決を一体的に推進し、持続可能なカカオ産業の実現に向けた官民共創モデルの構築を目指してまいります。

（２）農園植物廃棄物の有効活用を可能にする循環型アグロフォレストリーカカオモデル農園共同開発に関する協力意向書

ガーナ共和国における持続可能なカカオ生産の実現と、カカオ農家の収益向上に貢献することを目指し、「循環型アグロフォレストリーカカオモデル農園」の共同開発に向けた検討を進めます。式典では、同国政府より、気候変動への対応や環境保全と農業生産性向上の両立に向けた取り組みに高い期待が示されました。

本取り組みは、ガーナ共和国政府の理解と支援、ならびに農林水産省の協力のもと推進するものです。

今回締結した協力意向書に基づき、関係機関と連携しながら実証・普及を進め、持続可能なカカオ生産と地域社会の発展に貢献するモデルの構築を目指してまいります。

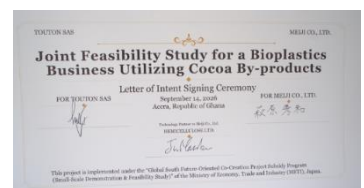


（３）カカオ副産物を活用したバイオプラスチック事業共同実証・事業化検討に関する協力意向書

ガーナ共和国におけるカカオ農家の収益向上と地域雇用の創出に貢献することを目指し、カカオの未活用部位を原料とするバイオプラスチックの共同実証・事業化に向けた検討を進めます。実際に、ガーナ共和国ではプラスチックごみをはじめとする環境課題への対応が求められており、同国政府からも、バイオプラスチックの活用やカカオの付加価値向上に対する高い関心が示されました。

本取り組みは、経済産業省の「令和 7 年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・FS 事業）」のうち、FS 事業として採択されており、ガーナ共和国政府やガーナ共和国におけるカカオ産業統括機関である Ghana Cocoa Board（ガーナ・ココアボード）をはじめとする関係機関と連携しながら推進するものです。

今回締結した協力意向書に基づき、ガーナ共和国国内での生産を視野に入れた製造モデルの構築を検討し、カカオから生まれる新たな価値を生産者に還元する仕組みづくりを目指してまいります。



（４）SAVAS（ザバス）製品の寄贈および栄養サポートに関する確認書

ガーナサッカー協会（GFA）に所属する選手を栄養面からサポートすることを目的に、（株）明治が展開するプロテインブランド「SAVAS(ザバス)」の製品提供および栄養サポートを実施いたします。今後、締結に立ち会った JETRO の協力のもと、ザバス製品 1 年分を寄贈するとともに、2026 年 11 月より、選手たちに向けて当グループ栄養士による栄養指導を計画しています。



これらの取り組みに加え、式典では、Meiji Seika ファルマ（株）が感染症領域で培ってきた知見やワクチン開発の取り組みを紹介しました。当グループは今後も、食と医薬の両面にわたる取り組みを通じて、ガーナ共和国における社会課題の解決や産業発展に貢献してまいります。

■ご参考：ガーナ共和国におけるこれまでの取り組み

明治グループは、2006 年よりカカオ農家支援活動「メイジ・カカオ・サポート」を展開し、ガーナ共和国をはじめとするカカオ産地で、持続可能なカカオ生産に向けた取り組みを進めてきました。

ガーナ共和国では、アグロフォレストリーカカオ試験農園の支援、井戸の寄贈や苗木の配布、営農指導、子どもたちへの教育支援、若手カカオ農家の表彰など、農家の生活向上と地域社会の発展に寄与する活動を継続して行っています。



【アグロフォレストリーカカオ試験農園の支援】

2020 年に植えたカカオが少しずつ実をつけはじめ、プランテーションやバナナなど、カカオ以外の作物の収穫も始まりました。
寄贈したシェイド・ツリーも継続して植えています。



【営農指導】

気候変動に適応する栽培法、森林減少を食い止める農業のあり方など、具体的なアクションを指導しています。